

創刊3000号記念特別インタビュー

日本観光の歩みとこれから

地域伝統芸能活用センター会長

中村 徹氏



なかむら・とおる 東大法卒。1958年運輸省入省。運輸政策局長、運輸事務次官など歴任。退官後、新東京国際空港公団総裁、日本観光協会会長などを経て、2007年1月から地域伝統芸能活用センター会長。東京都出身、84歳。

「基本法」で観光の意義を明記 国内観光の鍵握るシニアの需要喚起を

一般財団法人・地域伝統芸能活用センターの中村徹会長は、観光基本法の制定に尽力し、また日本観光協会の会長を務めるなど、長く日本の観光をリードしてきた。創刊3千号を機に、日本の観光の歩みと今後について語っていただいた。聞き手は論説委員の内井高弘。

中国人観光ビザの緩和に奔走

「日本の観光の礎となる『観光基本法』の制定に尽力した。『観光基本法』の制定に尽力した。『観光基本法』の制定に尽力した。」

「1963年に制定されたが、当時、観光は物見遊山、遊びだといわれ、きちんと評価されていなかった。運輸省、国土交通省、観光局長だった梶本信邦さん(故人)は『日本の観光は哲学がない。国、地域、国民にとって観光は大きな意義を持つており、それを法律で明記して、世の中に認知してもらう必要がある』と考へ、法相指図係長だった私に白羽の矢が当たった(笑)。私も20代後半で、張り切っていた。基本法には法律として、罰則が

「60年代の海外旅行事情は、64年に海外渡航が自由化されたが、庶民にとって海外旅行は夢のまた夢。『夢のハワイ旅行』という言葉があった。しかし、日本人が海外に出る。その国の文化を肌で感じることは日本の国際化、ひいては将来の日本にとって重要なことだ。日本人海外旅行者数を1千万人にする。テン・ミリオン

オーバーツーリズムは時間が解決

「一方で、外国人が増える。オーバーツーリズムは時間が解決する。オーバーツーリズムは時間が解決する。オーバーツーリズムは時間が解決する。」

「オーバーツーリズムは世界に広がっている。オーバーツーリズムは世界に広がっている。オーバーツーリズムは世界に広がっている。」

「オーバーツーリズムは世界に広がっている。オーバーツーリズムは世界に広がっている。オーバーツーリズムは世界に広がっている。」

地域伝統芸能活用センター



昨年、愛知県で開かれた祭りでの一コマ

「日本の祭り」開催 今年も開催 中村氏が会長を務める一般財団法人地域伝統芸能活用センター(東京都中央区)は、1999年に創立され、高田宮久子殿下が名誉総裁を務められている。

祝 観光経済新聞創刊3000号



草津温泉は応援しています。草津町役場 愛町部 観光課 TEL.0279-88-7188 草津町商工会 TEL.0279-88-2067 草津温泉観光協会 TEL.0279-88-0800 草津温泉旅館協同組合 TEL.0279-88-3722 草津温泉のお得な情報は こちらから